



地方副業を行うエンジニアの約4割が 「月に1～2回程度」現地へ訪問

ITエンジニアにおける副業の実態調査(後編)



レバテック株式会社が運営するITエンジニア・クリエイター専門エージェントレバテック (<https://levtech.jp/>)は、副業をしているエンジニア300名を対象に、副業の実態調査を実施しました。今回は前編・中編・後編に分けての発表となり、本記事では後編として、「地方での副業編(後編)」についてお届けいたします。

全文はこちらからご覧いただけます。

<https://levtech.jp/partner/guide/research/detail/182/>

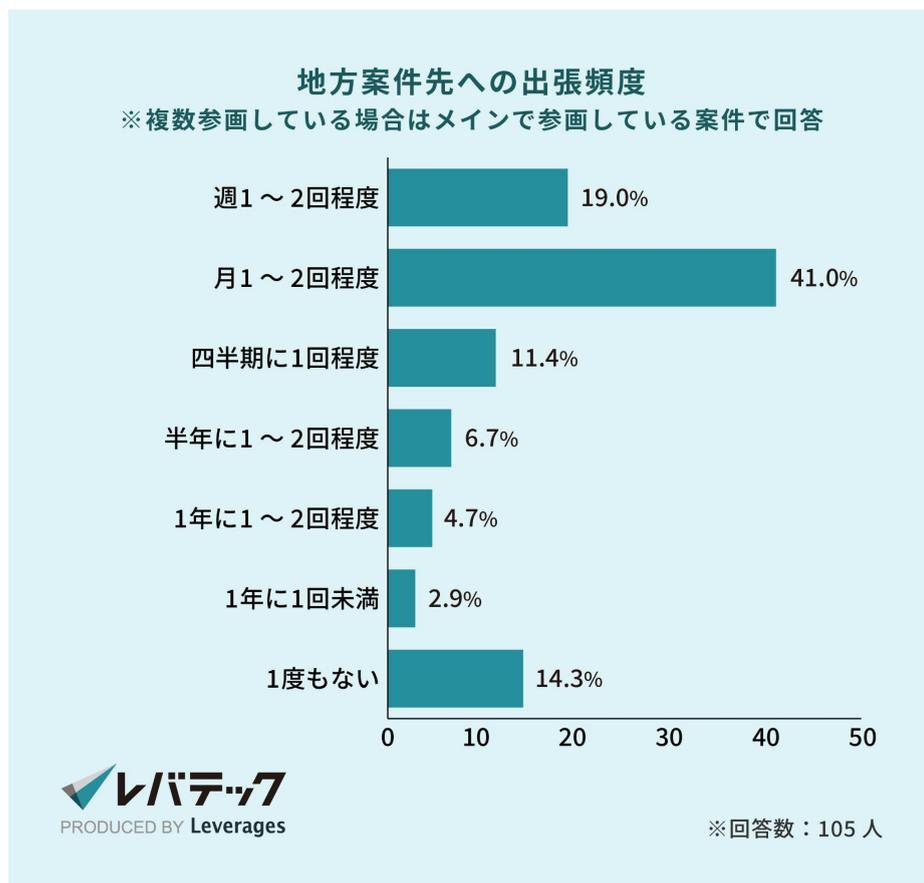
<調査サマリー>

1. 地方副業を行うエンジニアの約4割が「月に1～2回程度」現地へ訪問
2. 地方副業を行うエンジニアの約7割が地方での副業に「満足」
3. 9割のエンジニアが、引き続き地方で副業をしたいと回答

1.地方副業を行うエンジニアの約4割が「月に1～2回程度」現地へ訪問

地方で副業を行っているエンジニアに、どのくらいの頻度で地方に仕事で足を運んでいるか聞いたところ、「月に1～2回程度(41.0%)」が最も多い結果となりました。

「1度も足を運んだことがない」と回答したエンジニアは14.3%見受けられました。首都圏の参画案件と比べると地方では「HP制作」の案件が多いため※、案件先に足を運ばなくとも地方での副業案件が問題なく遂行できることが考えられます。また、現在はWeb会議といったオンラインツールも主流となっているため、コミュニケーション面も問題なさそうです。

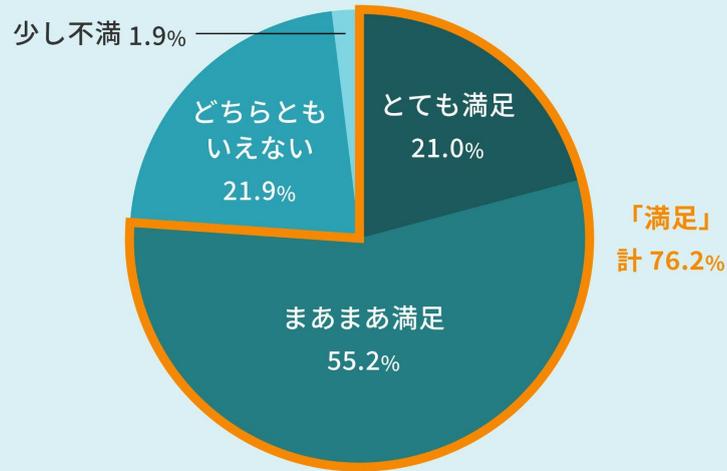


*2022年9月発表「ITエンジニアにおける副業の実態調査(中編)」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000497.000010591.html>

2.地方副業を行うエンジニアの約7割が地方での副業に「満足」

地方副業を行う約7割のエンジニアが、地方で副業することへ「満足している」と回答しました。また、地方副業を行ったうえで「プラスのギャップ」「マイナスのギャップ」どちらを強く感じたかの質問では、約6割のエンジニアが「プラスのギャップを強く感じた」答えています。

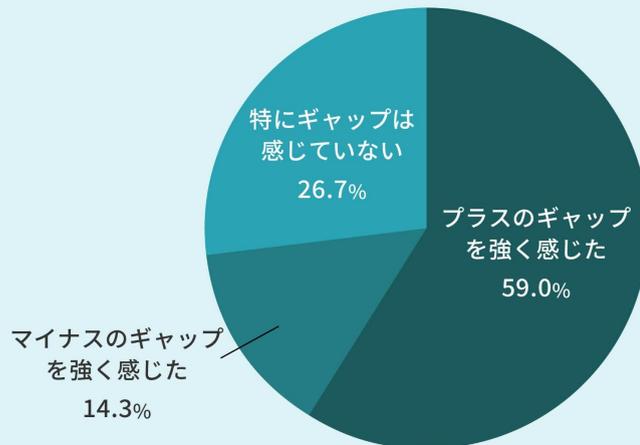
地方で働く満足度



レバテック
PRODUCED BY Leverages

※回答数：105人

地方副業への参画で、 プラスのギャップとマイナスのギャップどちらを強く感じたか

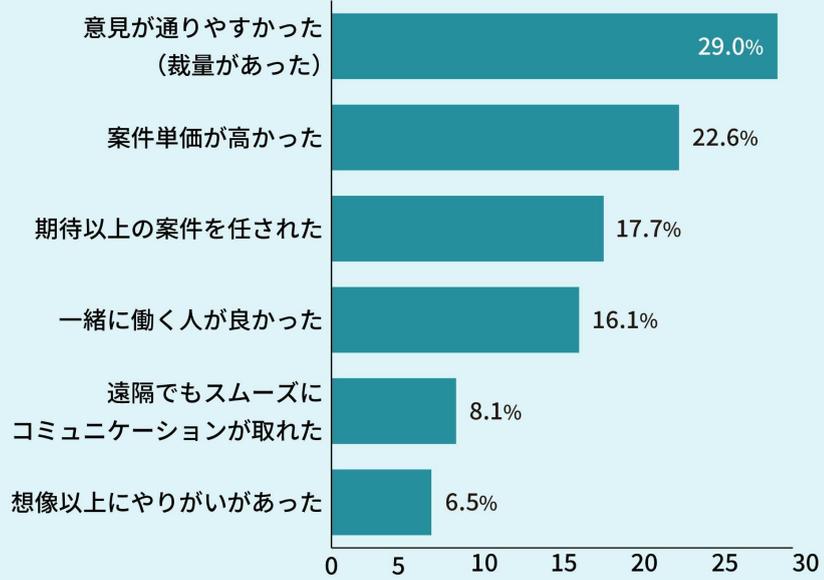


レバテック
PRODUCED BY Leverages

※回答数：105人

プラスのギャップには「意見が通りやすかった(29.0%)」が最多となり、次いで「案件単価が高かった(22.6%)」と続きます。先日発表した中編※では、約3割のエンジニアが、単価が安いイメージがあるために地方での副業に興味がないと回答していましたが、今回の調査を通してイメージとは裏腹に単価が担保されていることがわかりました。

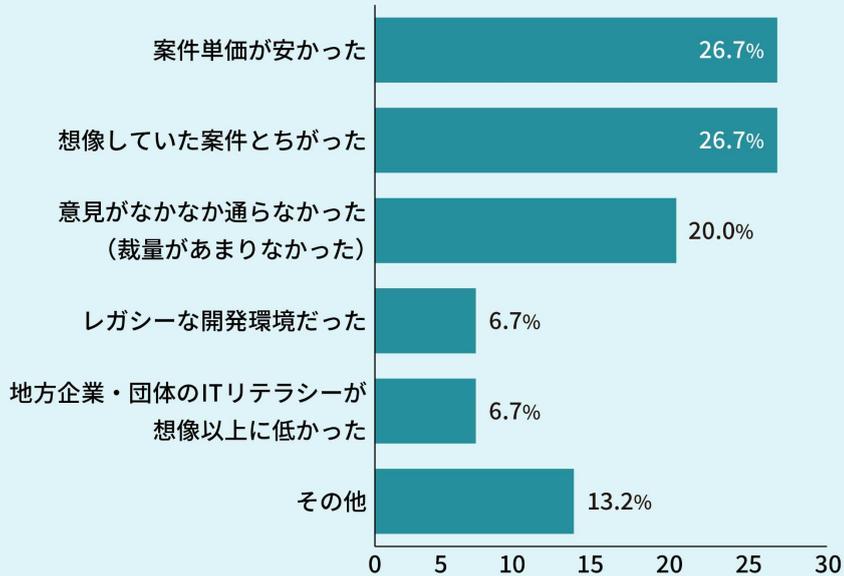
どのようなプラスのギャップを感じたか



レバテック
PRODUCED BY Leverages

※回答数：62人

どのようなマイナスのギャップを感じたか



レバテック
PRODUCED BY Leverages

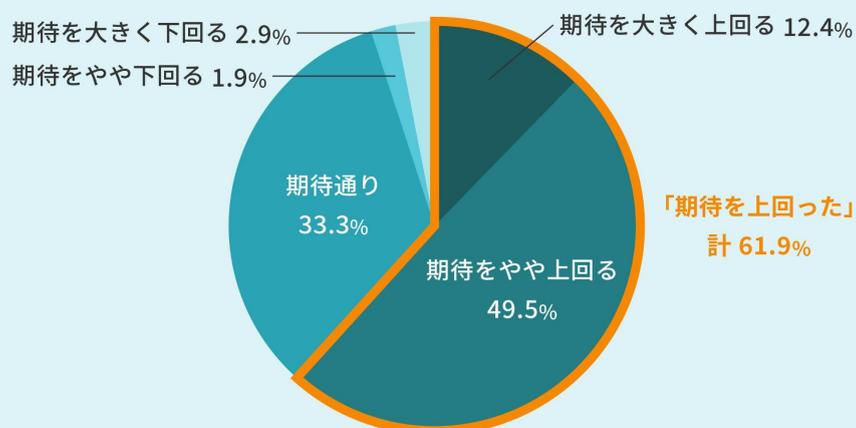
※回答数：15人

3.9割のエンジニアが引き続き、地方で副業をしたいと回答

地方副業を行う前のイメージと、実際に働いてみた期待値のギャップでは、約6割のエンジニアが「期待を上回った」と回答しました。また、9割を超えるエンジニアが引き続き地方で副

業をしたいと回答しています。都内に住みながら地方都市と関わることができ、実績を積みながらスキルを広げられる地方副業はエンジニアにとって魅力的のようです。

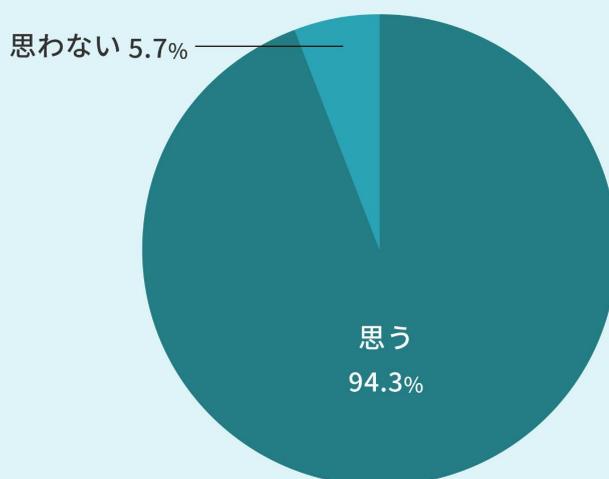
案件参画前イメージとの期待値ギャップ



レバテック
PRODUCED BY Leverages

※回答数：105人

引き続き地方で副業をしたいと思うか



レバテック
PRODUCED BY Leverages

※回答数：105人

<まとめ>

今回の調査リリースでは、ITエンジニア・クリエイターの地方副業の実態について明らかになりました。地方副業に参画しているエンジニアの満足度は約7割を超え、案件単価への不満はあまり見受けられません。

地方案件に興味があるITエンジニア・クリエイターも多い一方で、単価の印象や案件情報の露出度が低い故に、満足度が高い地方案件への参画機会損失が生じている実態が見受

けられました。副業での案件を積極的に供給することで、地方企業は必要とする人材を安価で雇えると同時に、人手不足の解消にもつながります。

今回の調査リリースを通して地方案件に対する印象が変わり、より一層参加者が増えること、そして、地方の活性化が進み、地方創生が加速していけば幸いです。

<調査概要>

調査対象: 副業を行う都内在住のエンジニア300名

調査年月: 2022年7月27日~2022年7月29日

調査方法: Webアンケート調査

有効回答数: 300名

調査主体: レバテック株式会社

実査委託先: 楽天インサイト株式会社

レバテック株式会社

レバテック株式会社では、「IT業界のエンジニア・クリエイターの人生に寄り添う」をミッションに掲げ、Web・IT業界のエンジニアと企業を繋ぐSES(システム・エンジニアリング・サービス)事業を展開しています。現在は業界最大手のフリーランスエンジニア専門エージェント「レバテックフリーランス」ほか、転職エージェント「レバテックキャリア」など、エンジニア・クリエイターのキャリアアップのための様々なサービスを提供。累計登録者は30万人を超えます。



▽「レバテックフリーランス」フリーランスエンジニア専門エージェント

<https://freelance.levtech.jp/>

▽「レバテッククリエイター」フリーランスクリエイター専門エージェント

<https://creator.levtech.jp/>

▽「レバテックダイレクト」ITエンジニア・クリエイター専門求人サイト

<https://levtech-direct.jp/>

▽「レバテックキャリア」エンジニア/クリエイター専門の転職支援

<https://career.levtech.jp/>

▽「レバテックエキスパート」年収800万円以上のハイクラスエンジニアの転職支援

<https://career.levtech.jp/expert/>

▽「レバテックルーキー」エンジニアに特化した新卒向け就職支援エージェント

<https://rookie.levtech.jp/>

▽「レバテックカレッジ」大学生・大学院生対象エンジニア就活特化のプログラミングスクール

<https://rookie.levtech.jp/college/>

Leverages Group

社会の課題を解決し関係者全員の幸福を追求し続けることをミッションに、インターネットメディア・人材・システムエンジニアリング・M&A・不動産の領域で国や業界をまたいだ問題解決を行なっています。2005年に創業以来、黒字経営を継続し2021年度は年商649億を突破しました。各分野のスペシャリストが集うオールインハウスの組織構成と、業界を絞らないポートフォリオ経営で、時代を代表するグローバル企業を目指します。

本社所在地：〒150-6190 東京都渋谷区渋谷2-24-12

渋谷スクランブルスクエア24階 25階

代表取締役：岩槻知秀

資本金：5,000万円

設立：2005年4月

事業内容：自社メディア事業、人材関連事業、システムエンジニアリング事業
M&Aコンサルティング事業/ ASP/SaaS/クラウド関連事業

URL：<http://leverages.jp/>

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ

レバレッジズ株式会社 広報部

TEL: 03-5774-2900 MAIL: pr@leverages.jp